



講習会・コンサルティングのご案内

公益社団法人 日本航空技術協会

2022年11月 改訂

講習会に関するお問合せ

講習会、講習会形式のコンサルティングに関するお問合せ

教育出版部 講習会担当

TEL : 03-3747-7602

メール : kousyukai@jaea.or.jp

技術協会ホームページ

<https://www.jaea.or.jp/>

目次

| | |
|------------------------------------|-------|
| 日本航空技術協会 講習会・コンサルタント事業について | 2 |
| 技術系航空業界入門講習会（航空一般とルール） | 3 |
| 航空用英語学習講習会【入門編】 | 4 |
| 航空用英語学習講習会【基礎編】 | 5 |
| 航空用英語学習講習会【応用編】 | 6 |
| 航空用英語学習講習会【発展編】 | 7 |
| 航空法規講習会 | 8 |
| 航空機整備 品質管理<基礎編>講習会 | 9 |
| 航空機整備 品質管理<実務編>講習会 | 10 |
| はじめてでもわかるヒューマンファクター講習会 | 11 |
| ヒューマンファクターリカレント講習会 | 12 |
| ヒューマンファクターアドバンス講習会 | 13 |
| SMS（安全マネジメント）講習会 | 14 |
| 装備品等の認定事業場（設計を除く）限定講習会 | 15 |
| 航空機整備／訓練業務の内部品質監査講習会 | 16 |
| 整備管理従事者講習会【入門編】 | 17 |
| 整備管理従事者講習会【専門編】（航空機耐空性管理コース） | 18 |
| アビオニクス基礎講習会 | 19 |
| エレキ基礎講習会<仮称>（2023年3月開講予定） | 20 |
| 航空整備士受験対策講習会（休講中） | 21 |
| 航空整備士実地試験 基本技術講習会 | 22,23 |
| 地方開催の講習会について | 24 |
| 受託講習会について | 24 |
| 合同講習会について | 24 |
| 講習会形式によるコンサルティングについて | 24 |
| 各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内 | 25 |

定例講習会受付期間を、従来の「講習計画日の2週間前まで」から
「前日の15時まで」に拡大しました。（HP上に3カ月前からアップします）
詳しくは“各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内”をご覧ください

日本航空技術協会 講習会・コンサルタント事業について

公益社団法人 日本航空技術協会は、航空の安全確保に資するため、教育・助成・能力開発および助言・提言によって航空技術の普及啓蒙を図り、もって航空界の学術および科学技術の振興と発展に寄与することを目的に事業を行っております。

その一環として開催しております、航空機の整備・技術・安全に関する各種講習会や講習会形式によるコンサルティングについてご紹介いたします。

お申し込みやお問合せにつきましては、最後部のご案内をご参照ください。

なお、記載されている講習内容は予告なく変わる場合があります。

最新情報は弊協会月刊誌「航空技術」巻末および協会 HP で都度ご確認ください。

～講習会講師について～

講師はそれぞれの講習内容について深い知識と経験を有する大手エアライン、航空関連企業や航空局のOBあるいは現役の方々です。



講習会風景（羽田 日本航空技術協会教室）

コロナ・ウィルス感染拡大予防のため

健康チェック、3密防止、マスク着用、換気、手指の消毒を行っています。

技術系航空業界入門講習会（航空一般とルール）

2日間コース ※科目ごと（1日ごと）の部分受講も可能です

▶ 概要

本講座は、新たに航空機の整備・技術・運航・営業などの業務を担当される新規採用や中途採用の社員・職員、これから航空業界をめざす方、そして就職指導をされる方などで、航空機に関連する基礎知識を短期間に学習したい方を対象にした講座です。

航空業界への第一歩を踏み出すのに必要かつ最小限な知識として、「航空機一般」、「航空のルールと運航」を2日間（1科目を1日、各日共9：30～17：30）で学習できます。1科目ごとの部分受講も可能です。

▶ 主な講習内容（科目の順番は変更になる場合があります）

| | |
|-----|--|
| 1日目 | 【航空機一般】 ・航空の技術史 ・揚力発生 の原理 ・システム概要（エンジン、航法、操縦） ・航空安全 など |
| 2日目 | 【航空のルールと運航】 ・日本の航空法の概要、航空機の運航の基礎 など |

▶ 受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
- ・航空機／装備品製造 整備、品質保証
- ・警察／消防／防災 航空隊
- ・航空機／エンジン商社 整備、技術、営業

など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認下さい。

航空用英語学習講習会【入門編】

1 日コース（2022 年新規）

▶ 概要

日本航空技術協会発行の「新 これから学ぶ 航空機整備英語マニュアル」を教材として、英文マニュアル、サービスブリン、AD（Airworthiness Directive）等を正確に理解するために必要となる英文法の基礎知識や AMM（Aircraft Maintenance Manual）、IPC（Illustrated Parts Catalog）を読み込む上でのポイントを効率よく学習します。

▶ 主な講習内容

英文を正しく理解するためには、まず、文の構成要素である主語、動詞、目的語を見つけることが重要です。しかしながら、通常、文には、主語、動詞、目的語以外の副詞句や前置詞句が含まれており、また、名詞句や関係代名詞により主語や目的語が一語でない場合もあり、初心者には大変理解し難いものになっています。また、AMM におけるリミット（数値）の解釈や条件文の正しい理解なくして正しい整備作業は実施できません。加えて、人身事故や物損を防ぐ観点からは、Warning や Caution の内容把握も大変重要となります。本講習会では、このような英文を理解する上での基本事項と英文マニュアル読解のコツを学びます。

| | |
|-----|--|
| 1 日 | <p>【Part- I 基本文型、品詞、慣用句】</p> <ul style="list-style-type: none">・基本文型と文の構成要素、句と節・品詞（名詞、代名詞、動詞、助動詞、形容詞、副詞）・数値表現、よく使われる慣用句 <p>【Part- II 英文マニュアルの読解】</p> <ul style="list-style-type: none">・AMM、IPC・その他 |
|-----|--|

▶ 受講をお薦めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、品質保証
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
- ・教育システム開発 技術、営業
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊

など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空用英語学習講習会【基礎編】

1 日コース

▶ 概要

航空機整備に携わる整備士・技術者にとって、英語の学習を避けて通ることは出来ません。何をもとにどのように学んでいけばいいのか悩んでいる方、膨大な英語に囲まれて学習の方向が定まらず、ご苦労をされている方もいらっしゃると思います。

この入門編はこれから航空機整備に関わっていく方々を対象に、メンテナンスマニュアルや英語のワークシートを理解するために最低限必要となる基本的な用語と文法・文型を学習するとともに、なぜ多くの日本人は英会話（特に Listening）が不得意であるのかを理解して、その対策方法についても学習します。

▶ 主な講習内容

日本航空技術協会発行の英語教本、ASD-STE100（Simplified Technical English）、海外の整備士用英語教材、インターネットの学習サイトや YouTube 動画、スマートフォンの英語学習アプリ等を参考にしながら、今までの学習法の問題点を掘り下げ、これからの時代に適した最新の英語学習法について学び実践していきます。

| | |
|-----|---|
| 1 日 | <p>【Part- I 航空用英語入門】</p> <ul style="list-style-type: none">・マニュアル用英語の構成 ・部品の名称と複合名詞 ・冠詞 ・前置詞・動詞 ・助動詞 ・その他の表現 <p>【Part- II Listening の基本と用語習得法】</p> <ul style="list-style-type: none">・Lessons Learned ・インターネット、スマホの利用・専門用語の習得法 など |
|-----|---|

▶ 受講をお薦めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、品質保証
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
- ・教育システム開発 技術、営業
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊

など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空用英語学習講習会【応用編】

1 日コース

▶ 概要

航空用英語を普段から多用されている方、航空機の整備経験 5 年以上の整備士または同レベルのエンジニア、いつも英語マニュアルを読解する方や英語で航空日誌（Log Book）や書類を記載する方など、普段の業務で航空英語を使用する機会の多い方々が英語力のスキルアップをめざすのにお勧めの講習です。

▶ 主な講習内容

英語表記のマニュアルや技術文書を正確に理解する方法、整備記録を英語で正しく記載する方法について学習します。

上記に加えて、業務に必要な英会話や航空用英語を効率的に習得するため、海外の整備士用英語教材、インターネットの学習サイトや Podcast、YouTube 等を積極的に取り入れており、いつでもどこでも手軽に自分で英語を学習できる方法を紹介します。

社内で英語教育に携わっている方や英語に自信がある方にも有益な情報が満載の内容になっています。

| | |
|-----|---|
| 1 日 | <p>【Part- I 整備マニュアルと整備記録】</p> <ul style="list-style-type: none">・マニュアル用英語の読み方・整備記録の書き方 <p>【Part- II Listening の基本と用語習得法】</p> <ul style="list-style-type: none">・Lessons Learned・インターネット、スマホの利用・専門用語の習得法 など |
|-----|---|

▶ 受講をお薦めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
 - ・航空機／装備品製造 製造、修理、品質保証
 - ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
 - ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
 - ・自衛隊
- など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空用英語学習講習会【発展編】

1 日コース（2022 年新規 2023 年 1 月開講予定）

▶ 概要

整備マニュアルは一部和訳が使われているものの、将来的には英文のままが主流となると考えられます。また諸外国で製造された機体や装備品の整備や設計の考え方、製造国の新たな法制度や安全体制の方向等を素早く、そして正確に入手するには、英語の技術文書を入手して読み解く必要があります。必要な情報は和訳もされますが、質・量・時期が必ずしも十分とは言えないかもしれません。考え方や背景についての情報は、和訳されないものも多数あり、自らアクセスして読み解くことが求められます。

現代はインターネットの世界ですから、ほとんどの技術文書は無償/有償で入手可能であり、その気になれば、技術的知識の幅を広げることはいくらでも可能です。しかし問題はどのように必要な情報にたどり着くか、そしてそれを読みこなせるかどうかです。

この講座では、そのような技術文書が、何処にどのような形で収められているか、そしてどのような内容が書かれ、どのように整備のやり方や規定類と関連しているのか、その概略や使用される語彙について解説します。

▶ 主な講習内容

| | |
|-----|--|
| 1 日 | 引用例：Federal Aviation Regulation(Title 14 CFR) 、EASA CS(Certification Specification)、FAA AC、NTSB Accident Investigation Report、Federal Register、FAA AD、MSG-3、ICAO Safety Management Manual 等の読解、 航空機事故をとりあげ、英文の事故調査報告書をベースに、Mayday や Podcast も参考にして検証していくやり方の紹介 など |
|-----|--|

▶ 受講をお薦めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
 - ・航空機／装備品製造 製造、修理、品質保証
 - ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
 - ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
 - ・自衛隊
- など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空法規講習会

1日コース

▶概要

航空業務を実施する上で、航空法令および関連規則の遵守（コンプライアンス）が重要であることは、皆様既にご存知の通りです。これら航空法令および関連規則は、社会情勢の変化に応じて適宜改正が行なわれており、航空に携わる者として最新の改正に関する知識は不可欠です。

この講習会では、主に整備・製造に携わる方を対象に、航空法令および関連規則のうち、業務に関連した条項等に焦点を絞り、最新の改正内容、実務的運用に関しての知識を学習します。

▶主な講習内容

| | |
|----|---|
| 1日 | <ul style="list-style-type: none">・世界の航空規則・航空法の体系、構成・航空法各章の解説・航空法の改正のポイント など |
|----|---|

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、教育訓練
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、技術、品質保証、営業
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・航空局 飛行検査、整備、運航

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空機整備 品質管理<基礎編>講習会

1日コース

▶概要

航空機の整備を実施する上で、品質管理の知識をしっかりと把握しておく事が必須であることは皆様すでにご存じのとおりです。この品質管理<基礎編>講習会は、品質管理の基礎として、品質管理とその向上を図る多くの一般的な方法を網羅的に学習する講習会です。今後品質管理<実務編>を受講した際には、その理解が深まります。

また、<実務編>を受講された方にとっても、改めて基礎を学びなおすことが出来ます。

主に航空機とその装備品等の整備・製造の担当者向けですが、航空系以外の方にもお勧め致します。

▶主な講習内容

| | |
|----|---|
| 1日 | <ul style="list-style-type: none">・関連する重要な用語の定義・基本事項（4 M、S H E L、しぶり/しくみ/風土）・品質の分類 ・品質の実現、確保、改善の歴史・品質確保、改善の考え方、技法等・公的な品質マネジメントシステム （ISO9001、航空法認定事業場システム等）・品質確保、改善のための手法（QC 7つ道具等）・4 M管理（実務編で詳しく学ぶ4 M管理の概要について） |
|----|---|

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業/航空機使用事業 整備、整備管理、技術管理、品質保証
- ・航空機/装備品製造 製造、修理、技術、品質保証
- ・警察/消防/防災/海上保安庁 航空隊
- ・自衛隊

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認下さい。

航空機整備 品質管理〈実務編〉講習会

2日間コース

▶概要

航空機の整備を実施する上で品質管理とその向上について学ぶことは重要です。

この講習会は、品質管理〈基礎編〉で習得した方法を、実際の航空機整備や航空機材関連業務に生かしていく“実務編”です。日常業務の中で使用できる実践的な手法について学習する講習となっております。例えば、教育訓練や特殊工程において、必要な仕組みはどのようなものがあるかなど、具体的な方法を紹介いたします。

品質管理〈基礎編〉を受講されていない方でも理解できるように、重要な部分な点については〈基礎編〉の内容をクイックレビュー致します。

この〈実務編〉により、新人のための教科書的な知識レベルに加えて、基本的な応用動作レベルの習得が出来ます。又、管理者として必要な広範な知識の整理が出来ます。

▶主な講習内容（時程は目安です）

| | |
|-----|--|
| 1日目 | ・基礎編レビュー（認定事業場、J I S Q9001／9100等）、 ・マネジメントシステム、教育、生産、技術、規程管理、記録管理などについての具体的な管理ポイントの解説 |
| 2日目 | ・検査制度、監査、部品、特殊工程、計測機器、特殊工程、委託などについての具体的な管理ポイントの解説 |

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、品質保証
- ・航空機／装備品製造 品質管理
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・自衛隊

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

はじめてでもわかるヒューマンファクター講習会

1日コース

▶概要

航空系ではない方、航空系でも新入社員や転職者など航空業務にまだ馴染みのない方、これからヒューマンファクターについて取り組もうとされる方たちを対象にした「はじめてでも」ヒューマンファクターについてわかる講習です。

★人間の特性、ヒューマンエラーメカニズム、ヒューマンファクターの基礎となる考え方について学習します。

★過去の事故を事例とし、グループワーキング*をとおして、原因究明や再発防止策について学習します。（*オンライン講習の場合、別メニューとなる可能性があります）

▶主な講習内容

| | |
|----|--|
| 1日 | <ul style="list-style-type: none">・人間の情報処理と特性・ヒューマンエラーの発生と分類・ヒューマンエラーの対処法・ヒューマンファクターの基礎と考え方・適切な判断の実践・演習 |
|----|--|

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、品質保証
- ・機体製造／装備品製造 製造、修理、品質管理
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・システム開発 システムエンジニア
- ・航空施設管理 人事、保全
- ・鉄道事業／鉄道車両製造 安全、技術
- ・自衛隊
- ・個人

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

ヒューマンファクターリカレント講習会

1日コース

▶概要

航空機の整備品質の維持・向上のためには、整備要員の技術的スキル、人間活動のスキル及びヒューマンファクターの知識を結合させることが必要であり、そのためには初期訓練だけでなく期間を定めて行う定期訓練の受講が重要です。

また法的な重要事項にもなっております。

▶講習の対象者

すでにヒューマンファクターの基礎的な考え方を理解している方

▶主な講習内容

| | |
|----|--|
| 1日 | <ul style="list-style-type: none">・ ヒューマンファクターの復習（SHELモデル、スイスチーズモデル、ダーティーダズン等による基本の復習）・ 分析手法と対策立案（特性要因図、FTA、VTA等。対策立案時における基本的考え方）・ 航空事故事例 ・ 演習（なぜなぜ分析による原因把握等グループ討議） |
|----|--|

▶受講をお勧めする主な業種

- ・ 航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、品質保証
- ・ 機体／装備品製造 製造、修理、品質管理
- ・ 警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・ システム開発 システムエンジニア
- ・ 航空施設管理 人事、保全
- ・ 鉄道事業／鉄道車両製造 安全、技術
- ・ 自衛隊
- ・ 個人

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認下さい。

ヒューマンファクターアドバンス講習会

2日間コース

▶概要

各組織においてエラー分析や教育・訓練など、ヒューマンファクター推進を担当する方々に役立つように「はじめてでもわかるヒューマンファクター講習会（1日コース）」で学習した基礎と考え方を掘り下げるとともに、内容を広げた構成となっています。

事例研究についても、より深い検討ができるよう工夫しました。

▶主な講習内容（時程は目安です）

| | |
|-----|--|
| 1日目 | 【第一部】ヒューマンファクターの基礎知識 ・ヒューマンファクターとは ・ヒューマンエラーとは 【第二部】ヒューマンエラーを如何に管理するか ・エラーの発生を防ぐ ・エラーに気付く ・人間の情報処理モデル、S H E Lモデル、しぶり／仕組み／風土モデル ・エラーが事故につながらないようにする ・エラー耐性をもつことが出来る組織体制 ・エラーを防ぐ教育訓練の実施 ・エラーに関する情報の管理 |
| 2日目 | 【第二部】ヒューマンエラーを如何に管理するか（続き） ・要因の整理 ・正しい「しぶり」 ・予兆管理 ・特性要因図、S H E L分析、なぜなぜ分析など ・対策の立案 ・演習（2件程度）グループによる討議及び発表 【第三部】重要部分の各論 ・コミュニケーション ・チーム／風土管理 ・当事者 【第四部】まとめと今後の課題 |

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、訓練、品質管理、運航
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、技術
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・航空局 航空機検査 ・自衛隊

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認下さい。

SMS（安全マネジメント）講習会

1日コース

▶概要

平成23年4月からの義務化を受けてSMSの導入に取り組まれている事業者の方々、今後SMS（安全マネジメント）の導入を検討されている方々に向け、安全マネジメントの要点をICAO基準とマニュアルを基に入門編として解説します。

▶主な講習内容

| | |
|----|---|
| 1日 | <p>【PART-1 SMSの歴史と生い立ち】</p> <p>【PART-2 安全マネジメントの基本】</p> <ul style="list-style-type: none">・安全の考え方 ・ハザード、リスク <p>【PART-3 要求事項のレビュー】</p> <ul style="list-style-type: none">・運輸安全マネジメント制度 ・航空運送事業者SMS要件・認定事業場SMS要件 ・指定航空従事者養成施設SMS要件・ICAOの要件 <p>【PART-4 SMSを組み立てる】</p> <ul style="list-style-type: none">・安全方針と目標 ・安全リスクマネジメント ・安全保証・安全の理解を深める <p>【PART-5 SMSの構築と評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・方針と態勢、システム記述 ・マネジメントシステムの統合・ギャップ分析 ・段階的アプローチ など |
|----|---|

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、品質保証、安全
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、技術、営業、役員、品質管理、安全、品質保証
- ・航空機／エンジン商社 整備、サポート
- ・宇宙機器 安全開発保証
- ・航空局 航空機検査

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認下さい。

装備品等の認定事業場（設計を除く）限定講習会

2日間コース

▶概要

令和元年度航空法改正による航空機装備品・部品の安全規制の変更により新たに事業場認定の取得をお考えの皆さまに向けた講習会です。

講習内容は、航空局との協議のもと、変更・新設されるサーキュラー等の趣旨を正しく理解するとともに、航空機や装備品認定の実例を活用して事業場認定に必要となる航空法規と品質管理制度について学習します。

▶主な講習内容

| | |
|-----|--|
| 1日目 | <ul style="list-style-type: none">・装備品等に関する航空法改正のポイント 予備品証明の廃止から航空機装備品・部品の新たな安全規制の要件について・装備品等の認定事業場（設計を除く）に必要な品質管理制度 サーキュラーにより求められる、認定事業場やその業務規程の要件について |
| 2日目 | <ul style="list-style-type: none">・装備品等の認定事業場（設計を除く）に必要な品質管理制度 サーキュラーにより求められる、認定事業場やその業務規程の要件について（継続） |

▶受講をお勧めする業種

- ・新たに航空機の装備品等の認定事業場の取得をお考えの製造者
- ・航空機使用事業 整備、品質保証（装備品等のユーザーとしてお勧めします）
- ・海上保安庁 整備、装備技術（装備品等のユーザーとしてお勧めします）
- ・県警／消防／防災 航空隊（装備品等のユーザーとしてお勧めします）

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空機整備／訓練業務の内部品質監査講習会

1 日コース

▶ 概要

航空法の改正に伴い航空運送事業者、認定事業場、指定養成校では、整備の各組織および制度が適切に機能していることを保証するために「内部監査制度」を設ける必要があります。本講習では、整備／訓練に関わる広い範囲の方々を対象に、内部品質監査について経験のある講師によりわかりやすく解説し、事例演習により理解を深めます。

▶ 主な講習内容

| | |
|-----|---|
| 1 日 | <ul style="list-style-type: none">・品質とは ・監査に関する用語 ・品質マネジメント及び監査の国際規格・改正航空法と監査 ・航空法に定められた整備に関わる監査・内部監査の目的 ・内部監査の分類 ・内部監査の仕組み・監査のチェックリスト／シート ・監査員の特質と監査技術・事例演習 など |
|-----|---|

▶ 受講をお勧めする業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、訓練、品質管理、運航、監査
- ・航空機／装備品製造 製造、検査、技術
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・航空局 航空機検査
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
- ・自衛隊

など

▶ 料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

整備管理従事者講習会【入門編】

2日間コース

▶概要

各航空会社が個別に実施してきた整備管理従事者の養成に関する手法について、整備管理従事者の業務内容および従事する上で必要となる知識等を体系的に整理し、いずれの航空会社においても整備管理の基本となる共通的な部分についてまとめた講習です。

本講習会は、国土交通省、経済産業省等の関係省庁と、航空会社、製造事業者、民間養成機関等から構成される「航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会」の下に設置された「整備士養成ワーキンググループ」の施策として検討され訓練を行うものです。

▶主な講習内容（時程は目安です）

| | |
|-----|---|
| 1日目 | ・航空機整備の概要 ・航空機整備の認可 ・整備の基準 ・整備の準備 など |
| 2日目 | ・整備の実施 ・安全／品質管理 ・教育訓練 ・対官庁業務 ・サーキュラー など |

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、訓練、品質管理、運航、
- ・航空機／装備品製造 製造、検査、技術
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

整備管理従事者講習会【専門編】

（航空機耐空性管理コース）

2日間コース

▶概要

整備管理従事者の業務内容および従事する上で必要となる「法と知識」と「MRB、MEL」に関する知識等をより深く、体系的に整理し、航空機耐空性管理コース（法と運用、MRB、MEL）として設定しました。

▶主な講習内容（時程は目安です）

| | |
|-----|--|
| 1日目 | 【第1部】 ・航空安全と耐空性 ・耐空性の認証 ・耐空性の継続と整備 ・世界と日本の航空法規のかたち など |
| 2日目 | 【第2部】 ・MRB レポートとMSG-3 ・整備要目の作り方 ・MEL とCDL ・信頼性管理プログラム など |

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、訓練、品質管理、運航、監査
- ・航空機／装備品製造 検査、技術
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・各種学校／航空専門学校／大学 教師、講師、職員
- ・航空局 航空機検査
- ・自衛隊 など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

アビオニクス基礎講習会

3日間コース

▶概要

最近の航空機は大型機だけでなく小型機にも種々なアビオニクス・システムが取り入れられております。この講習では小型固定翼機、回転翼機の航空整備士も対象として、これらのシステムの基礎について学習します。

▶主な講習内容（時程は目安です）

| | |
|-----|---|
| 1日目 | 【PART I】 ・基礎知識 ・通信システム 【PART II】 ・航法計器 など |
| 2日目 | 【PART III】 ・航法計器（続き） 【PART IV】 ・航法システム など |
| 3日目 | 【PART IV】 ・自動飛行制御システム ・記録装置 など |

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術、運航
- ・通信情報 システム開発
- ・航空機商社 整備
- ・航空機／装備品製造 検査、技術
- ・警察／消防／防災 航空隊
- ・海上保安庁

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

エレキの基礎講習会〈仮称〉

2～3 日間コース（2022 年新規開講 2023 年 3 月開講予定）

▶概要

大型機・小型機によらず、多くの飛行機やヘリコプターなどの航空機は、電気でスターターを駆動してエンジンをかけます。またエンジン始動後は、発電機が生じる電力によって機器を操作し、制御し、発熱し、照らし、さらに電気はバッテリーに蓄えられます。

今後はCO₂削減の観点から、電気飛行機や電気自動車など、電気の利用度がますます高まるでしょう。

この講習会では、航空の観点から改めて「電気の基礎」を学習する講習会です。

航空工学講座第9巻「航空電子・電気の基礎」、同10巻「航空電子・電気装備」の内容に準拠しております。

▶主な講習内容

| | |
|--------------|---|
| 2～3 日 検討中 | 電気の基礎知識（電気、航空機の電気、交流直流の違いと特徴、電圧、変圧、整流、負荷、静電気など）、発電の原理、配線、充電の原理、バス（母線）、電気系統、制御と保護、モーターの原理、ヒーター、など CSD、IDG、GCU、GPCU、BPCU、INVERTERなどの電気機器 電気計器、電子計器の原理など、 自動制御、電気回路、デジタル計器の原理など |
|--------------|---|

検討中

▶受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術、運航
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、技術、検査
- ・航空機／装備品商社 販売、整備、
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・自衛隊

など

▶料金

「各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内」にてご確認ください。

航空整備士受験対策講習会

4日間コース ※科目ごと（1日ごと）の部分受講も可能です

▶概要

航空従事者（学科）国家試験に備えての講習会です。一・二等航空整備士、一・二等航空運航整備士（飛行機、回転翼）を目指す方が対象です。出題傾向を含め、過去に出題された問題等を中心に、科目ごとに経験ある講師陣が丁寧に解説いたします。ご希望により、特定の科目だけを選択して受講する事も出来ます。

▶主な講習内容（科目の順番は変更になる場合があります）

| | |
|-----|------------|
| 1日目 | 【機体（回転翼機）】 |
| 2日目 | 【機体（飛行機）】 |
| 3日目 | 【タービン発動機】 |
| 4日目 | 【電子装備品等】 |

▶受講者された方の主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、技術、品質保証
- ・警察／消防／防災 航空隊
- ・海上保安庁

など

現在休講中です
(ご希望の方はご相談ください)

▶受験応援特別料金（1科目あたり） 消費税込み（10%）

| 一般 | 賛助会員 | 個人会員 |
|---------|--------|--------|
| ¥12,680 | ¥8,900 | ¥7,860 |

航空整備士実地試験 基本技術講習会

8日間コース ※科目ごとの部分受講も可能です

▶概要

航空整備士実地試験には大きく分けて機体の取り扱い、発動機の試運転（一、二等航空整備士のみ）、基本技術の3つがありますが、そのうち基本技術の試験内容は一、二等航空整備士、航空工場整備士に共通です（一、二等航空運航整備士はこれに準じます）。試験のなかで特に重点が置かれている5科目について、実習による講習会を開催しています。特定の科目を選択して受講することもできます。

▶主な講習内容（時程は目安です。科目の順番は変更になる場合があります。）

《例》①締結作業 ②機械／電気計測 ③法規 ④ケーブル ⑤板金

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 土 | 日 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目 |
|-------|-----|-----|---|---|------|------|-------|-----|-----|
| ①締結 | ②計測 | | 休 | 休 | ③法 | ④ケ | ⑤板金 | | |
| 10.5H | 12H | | | | 7.5H | 4.5H | 25.5H | | |

計 60.0H

▶実施時期、場所、講師など

本講習は当協会の依頼により、下記企業に国土交通大臣認定指定養成施設とその教官をご提供いただいて実施する講習会です。（羽田地区周辺訓練施設を使用します。）

8月～11月いずれか：全日本空輸(株) / 1月：(株)JAL エンジニアリング

実施時期は日本航空技術協会HPでご確認ください。

テキストは「航空機の基本技術」の最新版をお持ちください。

▶受験応援特別料金

消費税込み（10%）

| 科目 | 一般 | 賛助会員 | 個人会員 |
|------|----------|---------|---------|
| 全科目 | ¥103,720 | ¥84,860 | ¥73,340 |
| 締結作業 | ¥18,440 | ¥15,190 | ¥13,100 |
| 機械計測 | ¥17,290 | ¥13,930 | ¥12,050 |
| 電気計測 | ¥3,460 | ¥2,830 | ¥2,620 |
| 法規 | ¥13,830 | ¥11,000 | ¥9,430 |
| ケーブル | ¥8,640 | ¥6,810 | ¥5,760 |
| 板金 | ¥42,060 | ¥35,100 | ¥30,380 |

▶定員

12名（受託会社の都合にて減員の可能性もあります）

（定員になり次第締め切らせて頂きます。また最少開講人数6名に満たない場合は中止することがあります。）

▶ 受講をお勧めする主な業種

- ・航空運送事業／航空機使用事業 整備、整備管理、技術、運航
- ・航空機／装備品製造 製造、修理、技術、検査
- ・航空機／装備品商社 販売、整備、
- ・警察／消防／防災／海上保安庁 航空隊
- ・個人

など



基本技術講習会風景（企業貸与頂いたカバーオールを着用）

地方開催の講習会について

従来、毎年6月名古屋空港、2月大阪八尾空港で開講しておりました「ヒューマンファクターリカレント講習会」は、コロナ感染拡大の防止やオンライン講習の定着によって、原則オンライン講習会に参加して頂く方式に変更させて頂きました。

受託講習会

ご希望の日時、場所に依じて講師派遣またはオンラインにて、日本航空技術協会が開催している各講習（基本技術講習会を除く）を受講することが可能です。

▶基本料金（税込価格） 消費税込み（10%）

例) 1日9名までのテキスト代込み

| | | | |
|------------|------------|---|--|
| 一般 | 賛助会員 | + | オンライン料金（オンラインの場合） ¥1500/人（¥20,000 上限） |
| ¥121,000 円 | ¥110,000 円 | | |

- * 講習料金は人数・時間によって設定が変わりますのでお問合せ下さい。
- * テキスト代は料金に含まれます。
- * 講師の準備に関わる費用が必要な場合は実費を頂きます。
- * 講師の交通費、および宿泊を伴う場合は別途実費を頂きます。
- * 手配の都合上、開催希望日の2カ月前くらいまでにご連絡をお願いいたします。

合同講習会

1社だけでは受託講習会を開講するだけの人数がまとまらない場合、近郊の複数の会社・団体が集まって講師の派遣費用をご負担頂く講習会です。講師派遣費用を折半するため東京（羽田）に受講者が行くより交通費を抑制することができます。オンラインも可能。

| | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------|
| 通常講習料金 （会員、賛助、一般） ×合計人数 | + | 講師派遣料 一人当たりの料金は 人数割となります | オンライン料金（オンラインの場合） ¥1500/人 |
|-------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------|

講習会形式によるコンサルティング

受託講習会の形式にて講師を派遣し、航空技術に関するご質問について講習致します。航空機の整備、運航を中心に周辺までの技術に関する基本的な内容について承ります。費用等はこちらでご相談ください。

各種講習会のお申込み、お問合せ等のご案内

基本技術講習会、航空整備士受験対策講習会ならびに地方開催講習会の料金については前掲をご覧ください。

それ以外の講習や問い合わせ先については、以下をご確認ください。

▶開催場所（基本技術講習会、地方開催講習会を除く。）

日本航空技術協会 教室（東京モノレール「整備場」駅 徒歩 2 分）

東京都大田区羽田空港 1-6-6 空港施設第 1 総合ビル 4 階

オンライン開催回は協会の設定する zoom での配信となります。＜必ず最後の項をご確認
願います＞

▶料金

消費税込み（10%）

| 種別 | | 一般 | 賛助会員 | 個人会員 |
|----------|------|---------------------------------------|----------|----------|
| 通常 料金 | 1 日 | ¥ 16,130 | ¥ 13,200 | ¥11,000 |
| | 2 日間 | ¥ 32,260 | ¥ 26,400 | ¥ 22,000 |
| | 3 日間 | ¥ 48,390 | ¥ 39,600 | ¥ 33,000 |
| オンライン料金 | | 各種お一人 ¥ 1500/回 | | |
| 直前申込み料金 | | 13 暦日以降、前日 15 時までには申込み 各種お一人 ¥ 2000/回 | | |

* お支払いは講習後、受講翌月末までに銀行振込をお願いしております。

* オンライン料金はテキスト発送費、システム利用料等の費用となります。

▶申込み＜必ず最後の項をご確認願います＞

原則、協会 HP（<https://www.jaea.or.jp>）からお申込みください。

通常申込みである「計画日 2 週間前」を過ぎると HP 上はグレーアウトして申込みできません。
それ以降の「直前申込み」（13 日前から前日（土日祝、協会休日除く）15 時まで）は直接協会にメールに
てお申込みください。 kousyukai@jaea.or.jp

▶賛助会員さまお申込方法

- ① 日本航空技術協会ホームページのトップページ（<https://www.jaea.or.jp/>）右上のログインアイコンより賛助会員番号、パスワード（初期設定は賛助会員番号）を入力してログイン
- ② グループ一覧のタブより、新規登録ボタンから必要事項を入力いただきグループを作成
- ③ グループ会員番号をご確認いただき一旦ログアウト後、グループ会員番号、設定頂いたパスワードで再度ログイン後お申し込み
 - お申し込みは作成いただきましたグループからのみ可能です
 - グループは複数作成可能です（受講生の情報は保存されません）
 - 次回以降はグループ会員番号、パスワードでお申し込みください

▶正会員・学生会員さまお申し込み方法

正会員・学生会員の方の講習会のお申し込みはホームページにログインいただくことでお申し込みが可能となります。

ホームページの切替に伴い、パスワードがリセットされておりますのでご注意ください。

(初期パスワードは、生年月日(西暦、8ケタ)となっています。1989年8月1日生まれの方の場合、19890801となります。会員情報の確認・変更に合わせて任意のパスワードへの変更もお願いします。)

▶一般の方のお申し込み方法

日本航空技術協会ホームページのトップページ (<https://www.jaea.or.jp/>) 右上のログインアイコンをクリックしていただき、ページ下部の会員登録がお済でない方「新規会員登録のご案内」から、講習会/イベントご利用者(一般会員) 入会案内はこちら、より、無料の会員登録をお済ませの上お申し込みください。

HPよりお申し込みできない場合は、以下の項目をメール(kousyukai@jaea.or.jp) または FAX(03-3747-7570) でご連絡ください。

- 講習会名(受講科目)、■参加者の氏名(ふりがな)、■年齢
- 連絡先(住所、電話、勤務先の場合は会社名、所属、役職名)
- 会員種別(個人会員(会員番号)、賛助会員、一般)

*教育担当者がいらっしゃる場合にはご担当者のご氏名・連絡先も必ず明記して下さい。

*講習の2週間前くらいに案内状をお送りします。

▶定員(基本技術講習会を除く。)

教室の場合、15~24名(コロナ感染状況により変動します)

オンラインの場合、15名

*定員にて締め切り、最少開講人数5名に満たない場合は中止することがあります。

▶オンライン講習について

感染症拡大防止とともに遠隔地の方も受講しやすくするため、すべての講習会(基本技術講習会を除く)において、オンライン講習を実施いたします。(定例、受託とも)

(以下、次ページ)

(オンライン講習 続き)

定例講習会で使用するシステムは「Zoom」です。お申込された方に「Zoom 招待状」を eメールにてお送りします。アプリのダウンロードは不要です。「招待状」にある URL をクリック、「招待状」にあるミーティング ID を入力、会社名と氏名を入力しクリック、「招待状」にあるパスワードを入力してクリック、で接続できます。

オンライン環境が不安（電波が届きにくいなど）な方はお申込前にご連絡ください。無料で接続テストを行います。

受託講習会において会社ご指定のシステム（Google Meet や Microsoft Teams など）によるオンライン講習会に対応いたします。受託講習会お申込時に承ります。

対面による講習会との差異は以下のとおりとなります。

- ・オンライン料金（テキスト発送、システム利用料の費用） 各種お一人 ¥ 1500/回
- ・誓約書の提出（録音録画の禁止、本人以外の受講禁止：協会仕様を送ります）

▶テキストと申込み期日（基本技術講習会を除く。）

テキスト代は講習料金に含まれております。

受託講習会において各社独自のご要望がある場合はご相談ください

申込み日によりテキスト等の教材が事前に入手できない場合がありますのでご注意願います。
開講日の 2 週間前のお申込状況で開講／不開講を決定します。

| 期限 | 申込み期日 3カ月前から HP にアップされます | テキスト入手時期 | | 料金 オンラインには オンライン料金が かかります |
|----|-----------------------------|--------------|-------|------------------------------------|
| | | オンライン | 教室 | |
| 1次 | 開講日 2週間前（開講決定日） | 前日まで | 教室配布 | 通常 |
| 2次 | 以降、開講日 4日**前 17時迄 | 前日まで* | 教室配布 | 通常+ 直前申込み |
| 最終 | 以降、開講日 1日**前 15時まで | 入手は 講習日以降 | 教室配布* | |

* オンラインの場合、天候や配達困難地区、教材予備数によってはテキスト等を受講日に入手できない場合があります。受講日に必ずテキストがご入用な方は開講日の 2 週間前までにお申し込みください。教室においても教材予備数を超過した場合には当日はプリント版となります。

**4 日前、1 日前のカウントは営業日です（土日祝日、協会公休日は含みません）
上記通りとならない場合、ご容赦願います。

講習会に関するお問合せ

講習会、講習会形式のコンサルティングに関するお問合せ

教育出版部 講習会担当

TEL : 03-3747-7602

メール : kousyukai@jaea.or.jp

技術協会ホームページ

<https://www.jaea.or.jp/>



公益社団法人 日本航空技術協会

〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 空港施設第1 総合ビル4階

<https://www.jaea.or.jp>